

2024年6月理事会議事録

日 時：2024年6月22日（土）13：00～15：40

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出 席：石川日出志・大竹幸恵・宮本一夫・青柳泰介・足立拓朗・石井淳平・一瀬和夫・
岩本 崇・植田 真・大坪志子・岡寺 良・忍澤成視・黒尾和久・澤田秀実・高
田祐一・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・水本和美・山崎和巳、監事
：谷口 榮、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：黒澤 浩・高倉 純・藤野次史、監事：萩野谷 悟

進 行：藤沢 敦

議 長：石川日出志

藤沢理事から、本日の出席者は22名（うち理事21名）で過半数に達しており、本理事会
が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

水本理事から、熊本県の松舟博満会員が2023年6月8日、静岡県の植松章八会員が2024
年4月9日、神奈川県の小池 聡会員が5月28日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の
意を表した。

議案第775号 退会会員の承認について

水本理事から、大阪府の*会員から2023年度をもつての退会届、青森県の*会員、長野
県の*会員、鹿児島県の*会員から2024年度をもつての退会届が提出されている旨の報告
があり、承認された。

また、賛助会員（学生会員）の青森県の*会員から学生資格の喪失により2023年度をも
つての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第776号 広報委員会委員の選任について

大竹副会長から、①佐古和枝委員長・近藤英夫委員が2023年度で3期6年の任期を終え
るが、大型事業である公式サイトのリニューアル事業が継続推進中であることから、「日
本考古学協会規則」第29条第1項の「ただし、特別な理由があり、会長が必要と認めた場
合はその限りではない」に則り、引き続きの委員継続の提案があった。②前理事会で広報
の担当理事であった栃木県の足立佳代会員を委員として選任したいとの説明があり、いず
れも原案通り承認された。

議案第777号 災害対応委員会委員の選任について

澤田理事から、前理事会で災害対応委員会担当理事であった奈良県の岡林孝作会員、及
び福岡県の田尻義了会員の2名を、令和6年能登半島地震の対応のため、引き続き委員と
して選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

なお、関東地区の委員が不在なことから、追加補充が求められた。

議案第778号 社会科・歴史教科書等検討委員会委員の選任等について

水本理事から、釘持輝久委員長・小森牧人委員・長屋幸二委員3名及び小菅将夫前担当理事の任期満了による退任に伴い、委員の公募及び委員会での協議により、北海道の駒木野智寛会員、東京都の亀田直美会員、神奈川県谷川章雄会員・松本建速会員、奈良県の角谷江津子会員、徳島県の岡山真知子会員の7名を新たに委員として選任したいとの説明があり、担当理事も加えて18名体制となることで原案通り承認された。

議案第779号 研究環境検討委員会の委員の選任について

日高理事から、亀田直美委員長・馬淵和雄委員の2名が任期満了で、植田 真委員が財務担当理事に就任したことにより退任することから、新たに紺野英二会員、高橋直崇会員、毎田佳奈子会員の3名を委員として選任し、森原明廣会員を委員長としたいとの説明があり、原案通り承認された。

続けて藤沢理事から、研究倫理部会についても委員交替の予定があるとの補足説明があり、改めて諮るとの補足説明があった。なお、研究倫理部会については、アイヌラウンドテーブルに係る体制が判明してから整理することが確認された。

議案第780号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の追加選任について

大坪理事から、5月第2回理事会議案第772号で承認された埋蔵文化財保護対策委員会委員について、調整が遅れたことから、委員2名の追加及び1名の交替を行い、奈良県の柳澤一宏会員、島根県の岩本 崇会員、熊本県の出合宏光会員を委員として選任したいとの説明があり、また誤記により1名を削除した全131名の名簿が改めて提示され、原案通り承認された。

議案第781号 日本考古学協会英文機関誌『Japanese Journal of Archaeology』の2024年度の予算について

肥後理事から、英文機関誌『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）の本年度の刊行について、前理事会の5月第1回理事会議案第766号において事業の実施は承認されたが、予算措置については理事改選後の本理事会で協議することとなっており、改めて経緯が説明された。JJAは複数年に亘り刊行が計画から大幅に遅れたことから2024年度予算では刊行費等が付いていないが、前担当理事である英文機関誌編集委員会の溝口孝司委員から受付した複数の原稿があるため、1号分の刊行を行いたい旨の説明を受け、刊行費及びサーバー維持費を予備費から支出することで対応したいとの提案があり、審議の結果、原案通り承認された。

報告第1008号 第1回指名型プロポーザル審査委員会について

大竹副会長から、公式サイトのリニューアルにあたりプロポーザル方式で委託業者を選ぶことで進めている。2社から企画提案書及び入札を受けて、6月10日（月）に9名で構成される第1回指名型プロポーザル審査委員会を開催したこと、及び今後の日程について報告され、了承された。

報告第1009号 公開シンポジウムについて

大竹副会長から、「考古学が解明する邪馬台国の時代（仮題）」をテーマに登壇者5名で、9月8日（日）に明治大学リバティホールを主会場にオンライン配信も併用して実施予定であり、今後、企画担当理事及び会場校を中心に早急に実行委員会を立ち上げて詳細を決める予定であるとの説明があり、了承された。

報告第1010号 理事会・監事組織について（理事役割分担）

石川会長から、今期の理事の理事会組織について調整の結果、5月臨時理事会での提示のとおりとする旨の説明があり、了承された。

報告第1011号 カフェde考古学2024第2回「考古学ビブリオバトル」実施報告

日高理事から、6月8日（土）にカフェde考古学2024第2回「考古学ビブリオバトル」を研究環境検討委員会が担当して東京都埋蔵文化財センターを主な配信会場として開催し、42名ほどの参加を得たとの報告があり、アンケートの結果、企画は好評だったが、当日の会場からの音声配信に課題があったことが報告され、了承された。

報告第1012号 アイヌ関係団体からの質問状等について

藤沢理事から、新理事会になったことからこれまでのアイヌラウンドテーブル（以下、アイヌRT）の活動の経緯について説明があった。コロナ禍で活動を休止していたが、昨年より再開し、研究倫理指針案の作成については、今年4月13日（土）にアイヌネノアンアイヌ主催で北海道で研究倫理指針案の説明を行った。その後、アイヌネノアンアイヌ・人が人であるための学問を問う会代表の木村二三夫氏からアイヌRT4学協会に宛てて質問状が提出されたことを受け、元担当理事及び現担当理事、今後の関係者等で協議し、各学協会個別に回答するのではなく、アイヌRT全体で、アイヌRT最終報告書及び研究倫理指針案に沿った回答を作成することを他3学協会に提案する方針で進める予定であるとの説明があり、了承された。

報告第1013号 各委員会等における2024年度会議等報告について（その3）

1 災害対応委員会の報告

澤田理事から、6月5日（水）に委員会を開催し、①今年度及び今後の委員会体制について検討した。②文化遺産防災センターが実施している令和6年能登半島地震文化財レスキュー事業に係る救援隊員の募集について、参加できる者2名を登録することを確認し、現地の情報共有を行ったとの報告があり、了承された。

2 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

大坪理事から、6月16日（日）に幹事会をオンラインで開催し、①港区高輪築堤跡について、各地区の現状を確認し、今後の対応を協議した。②鴨川市・南房総市嶺岡牧について、開発行為が認められたことから要望書を提出し、これまでの活動の経緯と論点の整理を行った。③令和6年能登半島地震について、現地の状況報告を受け、災害対応委員会と

連携することを確認した。④徳島市徳島城跡について、開発計画の変更があり、引き続き注視する、⑤福島県福島市西久保遺跡について、類例のない木簡が出土しており、今後の動向を注視していくこととした。⑥広島市広島城跡について、現状の確認を行い、要望書の提出も検討することとした。⑦広島県府中町下岡田官衙遺跡の開発計画について、引き続き情報収集に努めることとした。⑧北九州市旧門司駅遺構について、他学協会と合同で発出した「初代門司駅遺構の保存を求める11学会合同要望書」について、市議会で発掘調査及び開発の予算が可決したとの報告があり、今後の対応を協議したとの報告があり、了承された。

3 研究環境検討委員会の報告

日高理事から、4月30日（火）に委員会をオンラインで開催し、①第90回総会におけるポスターセッションのポスター案について協議した。②カフェde考古学2024第2回について実施内容を確認した。③次期委員会体制について協議した。④今後扱う課題について整理したとの報告があり、了承された。

4 広報委員会の報告

大竹副会長から、6月12日（水）に委員会をオンラインで開催し、①2025年度のカフェde考古学について、各委員会に今年9月までの計画の提出、及び11月末までの経費の提出を広報委員会に求め取りまとめる。②公式サイトのリニューアル事業について、進捗状況を確認した。③公式サイトのリニューアルにあたり、情報公開の手順や情報発信のコンテンツ掲載ルールの作成を検討する予定であるとの報告があった。

続けて野口理事から、現公式サイト掲載コンテンツの新公式サイトへの移行について、委託業者が決定する7月までの著作権関係の確認、及びデータの提供が求められ、了承された。

5 国際交流委員会の報告

足立理事から、6月13日（木）に委員会を小澤委員長と担当理事でオンラインで開催し、公式サイトに掲載している今年度の英文・韓文・中文コンテンツの作成にあたり、「発掘された日本列島2024」の見学など事業計画を確認したとの報告があり、了承された。

報告第1014号 名義使用の後援に関わる承認について

山崎常務理事から、島根県立八雲立つ風土記の丘から令和6年度秋季特別展「王と前方後方墳」についての後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

その他

1 2023年度宮城大会関係の報告等について

山崎常務理事から、これまでの経緯の説明があり、5月20日付けで文書を送付し、今後は文書内容の通り対応することが報告された。

以上

